

赤十字救急法等講習会のながれ

出前（依頼）講習を希望される場合、次に示す内容をご確認いただき、日本赤十字社栃木県支部事業推進課健康安全係（電話：028-622-4801）までご連絡願います。

1 講習会の企画

ご連絡の前に、次のページに記載の「**赤十字救急法等講習予約メモ**」に沿って、ご検討ください。
なお、ご予約は、講習開催予定日の**3か月前まで**とさせていただきます。

2 栃木県支部への連絡・相談

日本赤十字社栃木県支部事業推進課健康安全係あてご連絡願います。指導員を派遣が可能か否か、また、講習内容等を相談させていただきます。

3 依頼書の提出

予約後、当支部から依頼者様あて「指導員派遣申請」の書類をお送りしますので、記入の上、当支部に**郵便または電子メール**で返信してください。当支部に依頼書が届くことにより受付完了となります。

4 指導員派遣回答通知

派遣する指導員が決定したら、依頼者様あて郵便または電子メールにて書類をお送りします。
kousyuu@tochigi.jrc.or.jp からメールを送信します。迷惑メール等受信拒否の設定をしている場合は、当支部ドメイン「tochigi.jrc.or.jp」からのメールを受信できるように設定変更してください。

5 担当指導員との打合せ

4の書類が届きましたら、担当指導員と内容や使用する教材等の打ち合わせをお願いします。

6 講習資機材等の受け渡し

使用する教材を栃木県支部あてご連絡願います。
なお、教材の引取日時と返却日時をお知らせください。通常、講習日の前後2日以内となります。

7 講習会実施

8 講習資機材等の返却並びに教材費の支払い

教材（有償分）の費用請求をしますので、振込にてお支払いください。

10 認定証の送付

認定証が交付される講習（例 救急員養成講習）については、講習終了後1か月を目安に申請団体あてにまとめてお送りいたします。

赤十字救急法等講習予約メモ

※講習の予約では、次のことについてお伺いします。事前にご確認の上、ご連絡をお願いします。

講習種別	<input type="checkbox"/> 救急法 <input type="checkbox"/> 幼児安全法 <input type="checkbox"/> 水上安全法 <input type="checkbox"/> 健康生活支援講習							
講習区分	<input type="checkbox"/> 短期講習 <input type="checkbox"/> 基礎講習 <input type="checkbox"/> 養成講習							
受講対象 ・人数	(受講対象：具体的に)					名		
講習会場	名称（広さ）							
担当者名 および 連絡先	① 担当者氏名							
	② 住 所		〒					
	③ e-mail アドレス							
	④ 電 話 番 号							
	⑤ ファクシミリ							
希望日時	希望順	年	月	日	曜日	開始時刻	終了時刻	備考
	第1							
	第2							
	第3							
資材引取日	令和	年	月	日	時	分		
資材返却日	令和	年	月	日	時	分		

※以下、短期講習申請団体のみお答えください。

希望内容	救急法	<input type="checkbox"/> 心肺蘇生とAED <input type="checkbox"/> 応急手当 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
	幼児安全法	<input type="checkbox"/> 心肺蘇生とAED <input type="checkbox"/> 応急手当 <input type="checkbox"/> 災害時の乳幼児支援 <input type="checkbox"/> その他						
	水上安全法	<input type="checkbox"/> 着衣泳 <input type="checkbox"/> 溺者救助 <input type="checkbox"/> 心肺蘇生とAED <input type="checkbox"/> その他（ ）						
	健康生活支援	<input type="checkbox"/> 避難生活支援 <input type="checkbox"/> 地域で支える認知症 <input type="checkbox"/> こころとこころをつなぐ講習（元気で長生き、高齢者の食事、終活） <input type="checkbox"/> その他（ ）						
希望の教材	<input type="checkbox"/> 救急法の基礎知識（53円） <input type="checkbox"/> 心肺蘇生・AED使用法（53円） <input type="checkbox"/> 三角巾（250円） <input type="checkbox"/> 呼気吹き込み用具（157円） <input type="checkbox"/> 呼気吹き込み用具（115円） <input type="checkbox"/> 水上安全のてびき（53円） <input type="checkbox"/> 子どもの看病手当のしかた（53円） <input type="checkbox"/> 避難生活支援講習ハンドブック（53円）							

※各講習会についての指導項目並びに経費等については、次の頁をご覧ください。

赤十字救急法等講習会

●講習の区分

1 基礎講習

一次救命処置（心肺蘇生・AEDを用いた除細動・気道異物除去）について学びます。

2 養成講習

救急法では一次救命処置を除く内容となります。

また、各養成講習では、講習終了後に検定（学科・実技）を行い、合格者には、赤十字救急法救急員（幼児安全法支援員・水上安全法救助員・健康生活支援員）の資格を付与し、認定証を交付します。

3 短期講習

上記1、2の内容の一部をご要望に応じ、学ぶことができます。

●受講者数

20名～30名が適当です。

30名以上で計画の場合は、指導員や資材の調整がありますので、事前にご相談下さい。

※20名に満たない場合、業務都合により指導員派遣ができません。ご了承願います。

●費用

1 指導員派遣経費

基礎講習、養成講習、短期講習（4時間以上）・・・5,000円×指導員数×日数

短期講習（4時間未満）・・・3,000円×指導員数×日数

指導員数は、概ね受講者10名程度に対して指導員1名の派遣を基本とし、講習内容により増減することがあります。

2 受講費（教材等の費用）

（消費税込）

講習の種類	講習の区分	教材等の費用
救急法	基礎講習	1,500円
	救急員養成講習	2,100円
幼児安全法	支援員養成講習	2,200円
水上安全法	救助員Ⅰ養成講習	700円
健康生活支援講習	支援員養成講習	900円
短期講習		・人工呼吸用マスク 157円 ・三角巾 250円 ・人工呼吸用シート 132円 ・小冊子 53円

※短期講習は、各講習の内容によって使用する教材が異なります。

●準備

1 講習会場 講習開催時間の前後1時間を含めて用意してください。

2 講習資材 栃木県支部と会場間の運搬は依頼者が行うこととなります（平日9時～17時）

3 名簿提出 受講証並びに認定証が交付される講習においては、講習開催日の10日前までに支部宛ご提出ください（遅刻・早退の場合には受講証等の交付ができません）。

4 受講者持参品 筆記用具、運動ができる服装でご参加いただきます。

— 各講習についての内容詳細については、次頁以降のご案内をご覧ください —

赤十字救急法

日常生活の事故防止と、思わぬ事故や災害にあった人、急病になった人に対して、医師や救急隊員に引き継ぐまでの一次救命処置（心肺蘇生やAEDの使い方等）や応急手当（急病やけがの手当等）のほか、災害時の心得などの知識と技術が学べます。

1. 講習の区分と内容

講習の区分・時間	内 容
基礎講習 (4時間30分)	○観察の方法・傷病者の寝かせ方、傷病者への接し方、 ○心肺蘇生、AEDを用いた除細動、気道異物除去
救急員養成講習 (12時間程度) ※休憩時間を除く時間となります	○急病とその対応 心臓発作、脳卒中、熱中症、アナフィラキシー など ○けが きず・骨折の観察、各部（頭、頸、胸、腹など）のけが 特殊なけが（熱傷、感電等の対応） ○止血 止血のしくみと止血法（止血帯止血法を含む） ○きずの手当 包帯による手当 ○骨折の手当 骨折の手当（固定の方法）、脱臼・捻挫・突き指等の手当 ○搬送 搬送の注意事項、搬送方法（担架搬送・応用担架など） ○救護 災害時の心得、災害への備え など
短期講習	基礎講習と救急員養成講習から希望する内容を抜粋して学びます。 内容によって要する時間が異なります。 例 ①心肺蘇生、AEDを用いた除細動 ②観察の方法+傷病者の寝かせ方+災害への備え ③止血のしくみと止血法+包帯による手当 ④急病とその対応+搬送の方法
児童・生徒のための救命手当短時間プログラム	心肺蘇生+AEDを用いた除細動 対象は、小学生から高校生で学校の授業時間に合わせて行います。 1単元または2単元で要する時間によって体験する内容が異なります。

2. 受講条件

講習の区分	受講条件	受講証交付	認定証交付（検定合格者）
基礎講習	15才以上の方	交付有	「赤十字基礎講習修了者」 (ベーシックライフサポーター)

救急員養成講習	基礎講習の認定が有効期限内の方	交付有	「赤十字救急法救急員」 (ファーストエイドプロバイダー)
短期講習	無し	交付無し	

3. 講習時間

講習の区分	講習の時間	時間の配分
基礎講習	4時間30分	10:00～16:30の間で4時間30分
救急員養成講習	12時間程度	10:00～15:00で3日間 または、 9:30～17:00で2日間
基礎講習+ 救急員養成講習	18時間程度	9:30～16:30で3日間
短期講習	2時間以上	10:00～16:00の間で2時間以上
児童・生徒のための 救命手当短時間 プログラム	1単元 2単元	50分程度 50分程度×2 (100分程度)

※講習の時間には休憩時間等は含みません。

4. 教材費等の実費 (消費税込)

講習の区分	教材等の費用	内 訳
基礎講習	1,500円	教本 (救急法基礎講習)、人工呼吸用マスク2個 消耗品費、保険料※
救急員養成講習	2,100円	教本 (救急法講習)、教材セット1個 消耗品費、保険料※
短期講習		内容により、次の教材が必要になります。 ・人工呼吸用マスク157円 ・小冊子 (知っていれば安心ですー心肺蘇生とAEDー) 53円 ・小冊子 (救急法の基礎知識) 53円 ・三角巾250円
児童・生徒のための 救命手当短時間 プログラム	2単元の場合は、次のいずれかの教材が必要になります。 ・人工呼吸用マスク157円 ・人工呼吸用シート132円	

※依頼者側で保険に加入している場合は、保険料 (100円) は不要となります。

5. 受講者に用意していただく物

講習の区分	受講者準備教材
救急員養成講習	・「赤十字ベーシックライフサポーター」認定証 ・タオル3枚 ・ビニール袋2枚 (自分の手が入るサイズ) ・上履 (洗ってあるもの)
短期講習	講習内容によって救急員養成講習に準ずる教材が必要となります。

赤十字幼児安全法

子どもに起こりやすい事故とその予防のケーススタディや手当（乳幼児の心肺蘇生やAEDの使い方等）、かかりやすい病気と看病のしかたなどの知識と技術が学べます。

また、被災した乳幼児とその保護者に対する適切な支援方法の知識が学べます。

1. 講習の区分と内容

講習の区分	内 容
支 援 員 養 成 講 習	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもについて 子どもの成長・発達について、子どもに起こりやすい事故の予防 など ○知っておきたい応急手当 子どもに起こりやすい事故とけが、急病に対する応急手当、手当の実際 乳幼児の心肺蘇生とAEDの使い方、気道異物除去 など ○子どもの病気と看病のしかた 子どもの病気の特徴、起こりやすい症状（発熱、おう吐、けいれん など） と手当、病気の予防と早期発見、医師へのかかり方 ○地域の子育て支援 ～社会全体で子どもを大切に育てるために～ 地域の子育てサポートシステム、虐待を防止するために
短 期 講 習	<p>支援員養成講習から希望の内容を抜粋し、学ぶことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 例①子どもに起こりやすい事故の予防 + 応急手当（頭部のけが、熱中症など） ②異物の誤飲（ごいん）・誤嚥（ごえん）と窒息 + 乳幼児の心肺蘇生とAEDの使い方、気道異物除去 など ③子どもの病気の特徴+起こりやすい症状（発熱・けいれんなど） と手当について ④避難生活支援講習（乳幼児と保護者編）

2. 受講条件等

講習の区分	受講条件	受講証交付	認定証交付
支援員養成講習	15才以上の方	全日程を受講された方	全日程を受講され、検定に合格された方
短 期 講 習	無し	交付無し	交付無し

3. 講習時間

講習の区分	講習の時間	時間の配分
支援員養成講習	14時間	9:30～16:30で2日間
短期講習	2時間程度	10:00～16:00の間で2時間程度

※講習の時間には休憩時間等は含みません。

4. 教材費等の実費（消費税込）

講習の区分	教材等の費用	内 訳
支援員養成講習	2,200円	教本(幼児安全法講習、別冊「乳幼児の一次救命処置」)、人工呼吸用マスク、人工呼吸用シート 消耗品費、保険料※
短期講習	内容により、次の教材が必要になります。 ・人工呼吸用マスク157円 または ・人工呼吸用シート132円 ・小冊子(子どもの看病 手当のしかた)53円 ・小冊子(避難生活支援講習ハンドブック)53円	

※依頼者側で保険に加入している場合は、保険料(100円)は不要となります。

5. 受講者に用意していただく物

講習の区分	受講者準備教材
支援員養成講習	・約50cm四方の大判ハンカチかバンドナ1枚 ・パンティーストッキング1足 ・大判のスカーフ(正方形)または風呂敷(三角巾でも可)
短期講習	講習内容によって支援員養成講習に準ずる教材が必要となります。 なお、避難生活支援講習を行う際は、次の資材が必要です。 ・フェイスタオル2枚 ・ビニール袋(30cm×40cm程度)1枚 ・新聞紙5枚程度

赤十字水上安全法

水の事故から命を守るため、泳ぎの基本、事故防止とプールでの監視技術、溺れた人の救助などの知識と技術が学べます。

1. 短期講習の内容

内 容	所要時間
<p>○水の活用と事故防止 水の事故の現状と事故防止、水を活用した健康増進、海・河川の知識</p> <p>○安全な水泳と自己保全 安全に水泳を楽しむために、着衣（靴）状態での動作など</p> <p>○安全な管理と監視 遊泳施設等における安全管理、監視、集団水泳の安全管理</p> <p>○救助 救助者の心得、救助の実際</p> <p>○手当 一次救命処置（心肺蘇生、AEDの使用法）</p> <p>上記の中から希望する内容を抜粋し、学ぶことができます。</p> <p>内容によって要する時間が異なりますので事前にご相談ください。</p> <p>例 ①集団水泳の安全管理＋監視＋心肺蘇生とAEDの使い方 ②救助者の心得＋救助の方法＋水上安全法における応急手当 ③水の事故の現状と事故防止＋着衣（靴）状態での動作、浮き具の活用</p>	2時間 程度

2. 教材費等の実費（消費税込）

内容により、次の教材が必要になります。

- ・人工呼吸用マスク 157円
- ・小冊子（ルールを守ってたのしい水泳・水遊び） 53円

3. 受講者に用意していただく物

プールを会場とした実技を希望される場合
水泳着、水泳着の上に羽織れる上着、バスタオル、ビニール袋
ペットボトル（空で洗浄済み、キャップ付き）などが必要となる場合があります。

赤十字健康生活支援講習

高齢期を迎える前からの健康管理、地域での高齢者支援、介護支援が必要な高齢者に対応するときに役立つ知識と技術などが学べます。

また、避難所での生活に焦点をあてたボランティア活動に必要な知識と技術が学べます。

1. 短期講習の内容

	内 容	所要時間
避難生活支援 (高齢者編)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害が高齢者に及ぼす影響、接するときのこころづかい ・避難所生活で気をつけたい病気や症状 ・知って役立つ支援の技術（毛布ガウン、風呂敷リュック等） 	90分～ 120分
地域で 支える 認知症	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の主な症状、予防と早期発見 ・症状別の対応方法 ・地域で支えるために 	60分～ 90分
こころと こころを つなぐ講習	<ul style="list-style-type: none"> ○元気で長生き ～健康寿命を延ばすために～ <ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命について、健康維持と病気の予防 ・ロコモチェックと体操 	60分
	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の食事 ～お役立ち！健口情報～ <ul style="list-style-type: none"> ・誤嚥について、安全に美味しく食べるコツ ・食事前の準備運動（嚥下体操） など 	60分
	<ul style="list-style-type: none"> ○終活 はじめてみませんか?! <ul style="list-style-type: none"> ・人生のエンディングを考える機会を持つ意味 ・エンディングノートを書いてみよう など 	60分
その他の 短期講習	<ul style="list-style-type: none"> ○健康な高齢者をめざして <ul style="list-style-type: none"> ・健康維持と病気の予防の大切さ、高齢者の病気の特徴、 ・暮らしの中の運動習慣（ストレッチ・筋肉トレーニングなど） ○高齢者に起こりやすい事故の予防と手当、急病への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・食物による窒息、入浴中の事故、 ・心臓病・脳卒中が疑われるときの対応など ○地域における高齢者支援 <ul style="list-style-type: none"> ・支援活動の心がまえ、感染予防（手洗い・うがいなど） ・車椅子の操作と移動、杖歩行の介助、視覚障がい者の誘導 ・レクリエーション、リラクゼーション（首～背部、手） ○日常生活における介護 <ul style="list-style-type: none"> ・寝返り起き上がりの介助、車椅子への移動（ベッド⇄車椅子） ・食事介助と歯磨き・健口体操、排泄ケア用品の使い方 ・着替えの介助、高齢者に起こりやすい肌のトラブルとケア <p>上記項目から希望する内容を抜粋し学ぶことができます。</p>	60分～ 120分

2. 教材費等の実費（消費税込）

内容により、次の教材が必要になります。

- ・小冊子（避難生活支援講習ハンドブック） 53円
- ・小冊子（地域で支える認知症） 53円